平成二十五年度第一期くまもと俳句ポスト

第一期開函

日本伝統俳句協会評議員　　井芹　眞一郎　選

**特選一句**

蒼き夜に浮かびし城の桜かな　　　　　　　　千葉県千葉市　　吉野松美

【講評】ソメイヨシノ・ヤマザクラ等約八百本が咲く熊本城は桜の名所。ライトアップされる夜景がまた美しい。掲句は「蒼き夜に」でさらに透明感のある幻想的な雰囲気をたたえる句になった。作者の詩心の高さが窺える。

**入選三句**

若葉風香る八雲の旧居かな　　　　　　　　　熊本県熊本市　　吉田昭之

風薫る洗馬の狸それぞれに　　　　　　　　　長野県小諸市　　田中匡子

薫風や漱石句碑の五高跡　　　　　　　　　　福岡県福岡市　　石橋君子

**佳作十句**

風光る天正の夢殿下石　　　　　　　　　　　熊本県熊本市　　田中民明

不知火のとろろと見ゆる蕉夢庵　　　　　　　熊本県熊本市　　古木勝行

蛍見や声若返る一夜かな　　　　　　　　　　熊本県熊本市　　吉井　巧

葉桜の風すべり込む行幸坂　　　　　　　　　熊本県熊本市　　田中和明

漱石の旧居の庭のやぶ椿　　　　　　　　　　熊本県熊本市　　野口美智子

庭園で育つ筆子の井戸の梅　　　　　　　　　熊本県熊本市　　三浦巡世

まくなぎに巻かれて入りぬ八雲旧居　　　　　福岡県北九州市　中島直四郎

まみえたり八雲旧居の梅雨の雨　　　　　　　兵庫県西宮市　　竹田賢治

緑陰や漱石が居て八雲いて　　　　　　　　　熊本県熊本市　　中村文三

花曇何を啄む雀の子　　　　　　　　　　　　熊本県熊本市　　石田成子

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　投句総数　　　　一九三句

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　市外　　　　　　　七七句

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　市内　　　　　　一一六句

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　開函日　平成二十五年六月三十日